

みずほCustomer Desk Report 2020/06/30号 (As of 2020/06/29)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.24
TKY 9:00AM	107.23	1.1224	120.30	1.2335	0.6861
SYD-NY High	107.88	1.1288	121.34	1.2388	0.6890
SYD-NY Low	107.04	1.1220	120.24	1.2252	0.6841
NY 5:00 PM	107.58	1.1243	120.94	1.2301	0.6866
NY DOW	25,595.80	580.25	日本2年債	-0.140	0.00bp
NASDAQ	9,874.15	116.93	日本10年債	0.010	0.00bp
S&P	3,053.24	44.19	米国2年債	0.151	▲1.57bp
日経平均	21,995.04	▲ 517.04	米国5年債	0.274	▲2.52bp
TOPIX	1,549.22	▲ 28.15	米国10年債	0.626	▲1.31bp
シコ日経先物	22,385.00	85.00	独10年債	-0.4720	1.20bp
ロンドンFT	6,225.77	66.47	英10年債	0.1610	▲1.00bp
DAX	12,232.12	142.73	豪10年債	0.8810	▲0.40bp
ハンセン指数	24,301.28	▲ 248.71	USDJPY 1M Vol	6.05	0.25%
上海総合	2,961.52	▲ 18.03	USDJPY 3M Vol	6.48	0.00%
NY金	1,781.20	0.90	USDJPY 6M Vol	7.48	▲0.15%
WTI	39.70	1.21	USDJPY 1M 25RR	-0.80	Yen Call Over
CRB指数	137.04	2.62	EURJPY 3M Vol	8.13	▲0.03%
ドルインデックス	97.54	0.10	EURJPY 6M Vol	8.68	0.03%

東京	東京時間のドル円は107.23レベルでオープン。仲値にかけてドル買いとなり、また米株先物が前日比プラスに転じ、日経平均株価も下落幅を縮小させる中、ドル円は一時107.38をつけた。午後は米株先物が下落に転じ、クロス円が売られる中ドル円は107.04まで下落し、107.08レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.08レベルでオープンし、アジア時間の流れを引き継ぎ午前中は107.20付近を挟んで横ばいした。その後、ユーロ買いが一段強まるとユーロ円につられる形で上昇し、107.28まで上値を伸ばし、107.26レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2388レベルでオープンし、対ユーロと対ドルのポンド売りが先行して一本調子で下落し、結局1.2319レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 マクルヒル)
ニューヨーク	海外市場のドル円は107円台前半でもみ合い。新型コロナウイルスの感染第2波への懸念と経済活動再開への期待感が交錯する中、方向感の乏しい展開が続き、107.26レベルでNYオープン。朝方は目立ったヘッドラインが見当たらない中、クロス円の上昇にサポートされ、107円台半ばまで上昇。その後、全般的なドル買い圧力も強まり、先週の高値(107.45)付近を上抜けると、ストップロス巻き込みながら上昇スピードが加速。10時発表の米5月中古住宅販売仮契約件数が予想を大幅に上回ったことが好感されたほか、米株の上げ幅拡大の動きにもサポートされ、一時107.88をタッチ。しかし、108円手前では売り意欲も見られる中、この水準で上値が重くなり、107.70近辺まで反落。午後は米株が上昇を続ける中、ドル円は高値圏で底堅く推移。終盤に小幅に売り戻され、結局、107.58レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.12台前半でスタートし、ユーロの買い戻しが優勢となる中、1.1268まで上昇。買い一巡後、1.1241まで反落するが、その後は欧州株の堅調推移にサポートされ、一時1.1288をつけ、1.1279レベルでNYオープン。朝方は1.1300をうかがう展開だったが、上値の重さが意識された見切り売りや、円に対するドル買い波及したことから、1.1231まで下落する。午後は1.1253まで反発する場面もあったが、ユーロ円やユーロポンドの上昇も一巡しており、再び下値模索の展開。一時1.1220まで下落するが、前日安値(1.1218)付近で下げ止まる。終盤は小幅値を戻し、1.1243レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 伊藤・木村 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

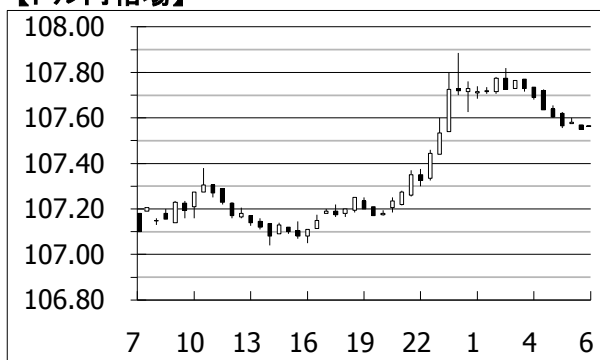
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月29日	18:00	欧	消費者信頼感・確報	6月 -14.7
	21:00	独	CPI(前月比/前年比)・速報	6月 0.6%/0.9%
	23:00	米	中古住宅販売仮契約(前月比)	5月 44.3%

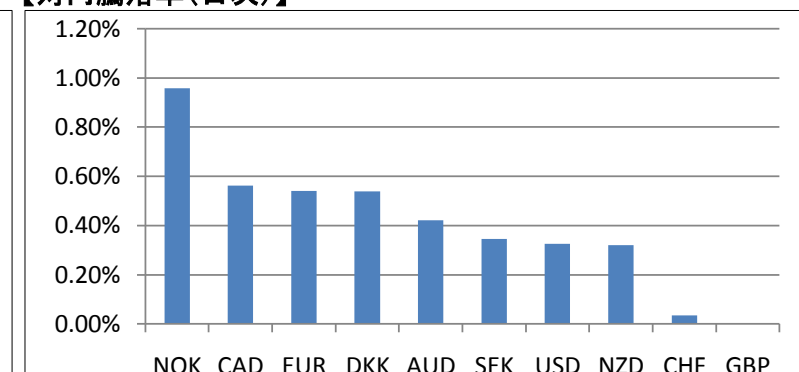
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月30日	08:30	日	失業率	5月 2.8%
	08:50	日	鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	5月 -5.9%/-23.1%
	10:00	中	製造業PMI/非製造業PMI	6月 50.5/53.6
	18:00	欧	CPI予想/CPIコア(前年比)	6月 0.2%/0.8%
	21:30	加	GDP(前期比/前年比)	4月 -12.2%/-17.1%
	23:00	米	消費者信頼感	6月 91.4
7月1日	00:00	米	ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-
	00:05	米	ブレインードFRB理事 講演	-
	01:30	米	パウエルFRB議長 講演	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】はたして今後の成長戦略はいかに

新興国通貨の中で、強い通貨を挙げるとすれば五指に入るタイバーツ。近年は経常黒字が常態化し、堅調な推移が続く。今年に入ってから、COVID-19の流行に伴う、外国人旅行者の流入停止と中国向け輸出の減少の煽りを受け、一時的に下落する場面も見られたが、アジア各国でCOVID-19の感染拡大が一服し、ロックダウンの解除が進む中、再びタイバーツは買い戻され、凡そ下落前の水準を取り戻すに至っている。為替という観点では盤石さえ感じられるタイではあるが、今後の成長戦略という点では懸念がないとは言えない。ASEAN各国で立ち上がる「中進国の罠」、タイもその例外ではない。この「中進国の罠」を乗り越えるためには、産業の高度化、生産性の向上が必要だとされ、東南アジア各国は産業構造の転換に向けた高度産業の誘致をはじめとした、成長戦略を描く。タイにおいても、高度産業の集積地帯を創出する産業クラスター戦略や既に各種産業の集積が進む東部経済回廊(EEC)への外資誘致といった成長戦略を進めてきた。こうした成長戦略の策定のキーマンとされてきたのが、現政界において屈指の経済通とされるソムキット副首相とその弟子ともされる現与党党首であり財務相を兼任するウッタマ氏である。タイが軍政に移行しても、政治、経済が安定的に推移し、外資による直接投資が途切れなかったのも、両氏がいたからこそという点は否めない。そうした両氏を取り巻く環境は悪化している。タイお得意の政変である。今般、ウッタマ氏は与党党首からの辞任を発表、財務相も退任するとの見方が強まっている。背景には、政府の財政、経済政策を両氏に掌握されていることを好まなかった軍出身者からの反発があったようだ。一部ではソムキット派の敗北との報道もみられる。仮に長らくタイの経済戦略を牽引してきた両氏が政界から身を退くともなれば、タイの成長戦略にも暗雲が漂う。ここでも権威主義の躍進が強まりつつある。(伊藤貴)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	牛島	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
山口	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	小林
ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14